

### 3 学期始業式あいさつ

明けましておめでとうございます。令和4年の新しい年を迎え、令和3年度も残すところあと3ヶ月となりました。3学期は3年生にとっては邇摩高校の3年間の締めくくりであり、高校生活の完成の学期であるとともに、4月から始まる新しい生活に向けた飛躍の学期です。2年生・1年生にとってもこの1年間のまとめの学期として、そして4月から始まる新年度へ向けての準備の学期として大切な学期ですので、目標を決め、その目標を達成するためにどう取り組むかを考えながら、着実に成長してほしいと思います。

新春の箱根駅伝は青山学院大学が大会新記録の圧倒的な力を見せつけ2年ぶりに優勝しましたが、一方で感動的なドラマもありました。初出場の駿河台大の4区を走った31歳「教師ランナー」今井隆生選手が5区を走るかつての教え子に師弟リレーを果たしました。今井選手は、高校のとき箱根駅伝を目標にするも全国レベルに届かず、日体大に入学後はトライアスロンに転向しました。中学校の体育教員になってからもトライアスロン選手として活動する中、駿河台大の徳本監督と知り合い、アドバイスを受けるようになり、教師を休職して駿河台大に編入学し、高校のときからの夢だった箱根駅伝出場の夢を叶え、しかも教師時代の教え子にたすきをつなぎました。監督車から見守った徳本監督からは、終始励ましの言葉がかけられ、完走後の「2年間、ありがとう。俺に謝ってきたら、ぶっとばすから」の声も感動を呼びました。皆さんにも目標や夢を持ってもらいたいです。そしてそれぞれの夢を追いかけ続けて欲しいと感じました。諦めなければチャンスは広がります。「もうダメだ。ではなく、まだダメだ。」と言いきかせて頑張ってもらいたいです。

さて、今年も本校にとっても皆さんにとってもいろいろ変化を伴う年となります。

4月1日からは、民法改正により成人年齢が18歳になります。3年生の皆さんは、4月1日をもって成人となります。2年生の皆さんも3年になって誕生日を迎えると成人となります。18歳で法的に「大人」として扱われることとなります。この結果、チャンスが広がる一方、責任が重くなります。

3年生は4月から社会人となる人も進学する人も新しい生活がスタートします。

本校は令和4年度入学生から今までの5系列から4系列となり、教育課程も大きく変わっていきます。その変動の中1, 2年生の皆さんには、良き先輩として後輩を引っ張っていただけたらと思います。

これらのように、今まで経験したことない状況に置かれたときに必要となるのが「適応力」です。進化論で有名なダーウィンの言葉に、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのではない。唯一生き残ることができるのは、変化できる者である。」とあります。激動する社会の中で生き残っていくために、変化に適応できる生き方を身につけてほしいです。

「適応力」には、状況の変化に積極的かつ能動的に適応し、対応する上で不可欠となる多種多様なスキルが含まれます。具体的には、「コミュニケーション能力」、「対人スキル」、「問題解決能力」、「発想力」、「思考力」、「チームワークスキル」、「情報整理力」などのスキルが挙げられます。本校では、これらのスキルを身に付けてもらうための学習を進めているところです。皆さんには高校卒業までにこれらのスキルを身に付けてもらいたいと思います。

また、今年の干支は寅年ですが、正確にいうと干支は12支と10までの数字を意味する十干（じゅっかん）をあわせたもので60年で一回りします。その意味で60歳を迎える年を還暦といいます。それによると今年は、9番目の寅で、壬寅（みづのえ・とら）と言うそうです。この年は「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起の良い年になると言われています。つまり今年が「始まり」や「成長」の年と言えそうです。新たなことにチャレンジし、自身の成長につながる年となるよう、皆さんの活躍を期待しています。